

令和 2年 10月9日

下野市市民農園だより

(第76号)

発行 市民農園利用者の会
会長 田中 志郎
後援 下野市農業公社
電話 32-8951
編集 赤井田 (副会長)
石川 (事務局)

残念……令和2年度市民農園まつり中止決定！！

11月7日(土)に予定されていましたが、コロナ禍の中で中止と決定されました。当会としては農園まつりの恒例となりました「芋煮」のため、「里芋」「人参」「ねぎ」「ごぼう」「大根」の作付け栽培に努めてきましたが、残念な結果となりました。

芋煮用においしく育った野菜は、11月7日(土)に会員限定の施設内での販売を予定しております。また、同時に不要となったプラスチックコンテナ(収穫コンテナ)の廉価併売も検討しております。

詳細は決定次第、掲示板で連絡予定しております。



[すくすく育った野菜]

会員からの耳寄りなはなし 「余ってしまった「タネ」の保存方法」

「タネ」には発芽能力を維持する年数(タネの寿命)があり、その年数は野菜によって異なります。果菜類やマメ類は比較的長く、葉菜類は短いのが特徴です。そこで、レタスやコマツナ等の葉物は、春と秋の年2回栽培する周年栽培してベビーリーフで食べるなどの工夫で、1年で使い切ってしまうのがよいでしょう。

白菜やキャベツ・ブロッコリーなどの大型の葉菜類は植える株数が少なく確実に発芽させる必要があるので、毎年新しいタネを購入することをお勧めします。

保存についてですが、ポイントになるのはタネの呼吸を抑えること。温度が高いと呼吸が盛んになり、タネの寿命が短くなってきます。密閉容器やジッパー付きのポリ袋にいれ、直射日光と湿気を避けて5℃程度の温度を保って保存します。冷蔵庫の野菜室が最適です。

古いタネを蒔くときは通常より多めに蒔いて、発芽率の低下した分を量で補うか、種まきの前に「芽出し」をするのもおすすめ。水で濡らした紙タオルにタネを包み、乾かないようにポリ袋に入れて2～3日間おき、殻が割れて白い根が見えているタネをまけば確実に発芽します。

(NHK 趣味の園芸より)

【今後の主な予定】

10月
農園だより76号発行
10～11月
稲わらの搬送・集積
12月
腐葉土作り
3月
役員会(総会関係)
農園だより77号発行

新人会員の紹介



初めまして、今年度から農園をお借りした谷です。どうぞよろしくお願ひします。野菜作りは初めてです。作りたい物はたくさんあります。4月にジャガイモを植えました。芽が出て葉が出て来ると「芽欠き」をすると大きな芋がとれると教えて頂き、土を軽く押さえ引き抜いてみるとだんだん楽しくなってきました。夏には大きなジャガイモができることを考えるとうれしくなりました。畑に行くたびに会う人、たまに会う人、皆さんとお友達(?)にもなりました。野菜作りを通してコミュニケーションも生まれて来ています。コロナ禍の中で、これまでの生活が様変わりしてきました。皆さんと健康で楽しく野菜作りや、会話ができることを幸せに思っております。

副会長をやらせて頂いておりますが、大変なことはありません。会長・役員全員でワイワイやっています。“楽しくやろう”がスローガンなので下野市市民農園が皆さんの{憩いの場}でありますように！これからも野菜作りを続けて行こうと思います。

★ たい肥、稲わらを随時販売しています ★

腐葉土、堆肥 : 1杯 (農園のバケツ) 100円
稲わら : 1束 20円
モミ殻 : 1杯 20円

(腐葉土: 12月頃納入予定)

購入希望者は、備え付けのノートに必要事項を記載して下さい。